

平成24年度 第3回 地域密着型分科会 会議要旨

1 議題

・議事

- (1) 地域密着型サービス事業所の新規指定について（認知症対応型通所介護2件）
- (2) 認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護の公募の検討について

2 開催日時

平成24年8月9日（木）18:30～20:30

3 開催場所

本庁舎8階 82会議室

4 出席者名

構成員 中野分科会長、中村副分科会長、野村構成員、丸林構成員
事務局 介護保険・健康づくり担当部長、介護サービス担当課長、介護保険課長、
ほか5名

5 会議の非公開理由

会は、不開示情報（北九州市情報公開条例第7条）に該当する事項について意見交換するため、非公開とする。

6 会議の内容

議事1 地域密着型サービス事業所の新規指定について

(1) 事務局説明

認知症対応型通所介護2事業所について説明。

(2) 主な構成員意見

①古民家を改修して活用する場合は、構造上の危険には十分に配慮してほしい。

②事業所概要に記載されていることを実践し、介護サービスの質の確保に継続的に努めてほしい。

構成員から意見を伺った後、検討結果及び付帯意見等についての分科会の意見をとりまとめた。

議事2 認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護の公募の検討について

(1) 事務局説明

・今回の公募は募集6件に対し、8件の応募があり、基本項目の審査結果はいずれも「適」。

・公募の選定ルール、応募法人の提案概要及び事業者ヒアリングの結果について説明。

(2) 応募法人の提案の評価に対する分科会での主な意見

- ・「施設面での特徴」において、グループホームの共用部分にソファを設置したダイニングに加え、掘りごたつのある畳のコーナーを設け、利用者がそれぞれのスタイルでくつろぐことができるスペースを確保するなどの工夫が見られる
- ・「虐待防止対策」において、行動の制限を行う前にその原因を探り、原因除去と環境整備による身体拘束ゼロの取組みに加え、家族の面会時間の制限をなくし、学生やボランティアなどを受け入れることで、第三者の目により虐待の抑制を図るなどの提案が具体的になされている
- ・「地域密着型としての地域との連携」において、スペースを利用した映画鑑賞会に地域の方を招待したり、利用者のエスケープ時の対応をお願いできる関係をつくっていくため、周辺の商店での購入を積極的に行うなど、地域との連携を深める取組みが具体的に提案されている
- ・「利用者への情報提供・情報公開」では、利用者の近況や生活風景など、毎月家族に情報提供するとともに、健康・医療・介護・食生活など幅広いジャンルの講座を開催するなど、具体的な取組みが提案されている
- ・これまでの介護事業所の運営の経験を踏まえ、開設予定地区で新たに「地域包括ケアシステム」の構築と地域ケアの質の向上に取り組んでいく強い熱意と姿勢が明確に示されている
- ・「職員の育成・職場環境」では、新人研修や現任者研修、管理者研修など、職員の習熟度に応じた研修メニューの提供や、エリアマネージャーというスーパーバイザー制度の導入など、職員育成の取組みが具体的に提案されている

(3) 検討の結果

各法人から提出された提案書等の内容について意見交換を行った結果、(株)ティーティーエス企画、北九州福祉サービス(株)、(株)ケアリング、(株)さわやか倶楽部（応募2箇所）、(株)プロデュースの計6箇所については選定に適しているとして、付帯意見を含めた分科会意見をとりまとめ、会議を終了した。